

登録品種

いちご「サマープリンセス」

四季成り性夏秋どり品種！ ケーキ等の業務用に最適！

長野県南信農業試験場育成

【育成の経過】

夏秋イチゴの主な用途はケーキ等の業務用であるが、7～10月の供給はほとんどを輸入に頼っているのが現状である。輸入品のイチゴは果皮が硬く品質が劣っていることや、業務用需要に対して入荷量が少なく夏秋どり品種の育成が強く要望されていた。

これらの背景から南信農業試験場では、四季成り性が強く、果実品質が安定した夏秋どり品種の育成を目標に昭和62年から一季成り性品種に四季成り性品種の交配を開始し、得られた四季成り性の選抜系統に一季成り性品種を交配し、実生個体の中から四季成り性が安定し果実品質が良好なものを選抜し平成10年に育種を完了した。

平成15年3月、育成系統は種苗法に基づく登録品種となり「サマープリンセス」と命名された。

【品種特性及び栽培時期】

1. 果実重は10g前後と夏秋どり品種としては大きく、果色は明赤色でややとり遅れても黒ずみません。
2. 果形は円錐形で揃いが良く、果肉は淡い橙赤色で肉質は緻密、糖度は夏場で8%程度です。
3. 収量は2t/10a前後で上果収量が高く、既存品種の「エバーベリー」に比べ安定しています。
4. 5月下旬～6月上旬に雨除けハウス内に定植し、6月下旬～10月下旬に収穫してください。



【栽培上の留意点】

1. 栽培適地は、標高800m以上の夏季冷涼な地域です。
2. 芯止まり症状が発生しやすいので、腋芽を除去しない、着果負担の軽減、水分や肥料(塩類)ストレスを与えない対策が必要です。

※ いちご原苗(親株)は、当センター会員の全国農業協同組合連合会長長野県本部及び各JA並びに長野県種苗生産販売協同組合各種苗店を通じ販売しております。

一般社団法人 長野県原種センター

長野市松代町大室2417-3

TEL 026-278-9229 FAX 026-278-936